Kaisei Town

ギカイだより

令和８年11月１日発行　No.230

議会ウェブサイト
トップページ

議会報告会・座談会を開催しました！

～町民と議会・想いを交わして～

令和８年９月26日（土）町民センターにおいて午前、午後の２回開催し、11人の町民の皆さんに参加していただきました。各常任委員会の現状の取り組みを報告し、その後、ご参加いただいた皆さんと意見交換を行いました。いただいたご意見は、議員で共有し、議会活動に活かしていきます。



今回は、初めての試みで座談会形式で開催しました！







開かれた議会へ

～議会は未来へ動き出す～

フェリス女学院大学と「包括協定」を締結

神奈川県内町村議会初

FERRIS UNIVERSITY

～官学連携を進め地域の課題を共に解決～

議会では、フェリス女学院大学と包括協定を締結しました。これにより、地域社会における政策課題や調査研究に、大学教授や学生の専門的知見を取り入れることなど多岐に渡る連携が可能となります。

また、議会も学生の能力育成及び学術研究の向上に関わることに関し積極的に受け入れを行います。

県立吉田島高校生徒会役員の皆さんとの意見交換会（第２回）

今回のテーマ	
	どのような方法（手段）があったら生徒の皆さんは政治に興味を持ちますか？
	どうしたら、選挙に行ってくれますか？（投票率を上げる良い方法を教えて！）

生活に身近な話題を織り込ませつつ、意見交換をさせていただきました。

また、主に使用しているSNSやどういう投稿なら興味を引く？など高校生の目線でのアドバイスをたくさんいただきました。第３回は10月下旬に行う予定です。





開成町議会インターンシップ（就業体験）を実施！

開成町議会では、学生・生徒の皆さんに対して、議会本会議や議会運営委員会、その他の常任委員会に関する業務を体験していただくインターンシップを実施しています。

これは議会事務局の担う業務に携わることで、就業意識の向上と議会・町政への理解を深めることを目的としています。

実施期間

８月17日～８月21日の５日間、高校生１名が参加しました。

各日の活動内容

１日目　庁舎見学、議会事務局業務のガイダンス
２日目　広報分科会視察随行（富士市）
３日目　農業委員会鳥海会長との現場体験、広報分科会
４日目　議会全員協議会（傍聴）、議会事務局就業体験（レポート作成）
５日目　レポート発表、全議員との意見交換





令和七年度 決算を詠む

令和７年度決算

各議員それぞれの視点を一句で
わかりやすく伝える議員川柳



より詳しい内容は
QRコードから議会ウェブサイトへ
お進みください

山本　研一 議長

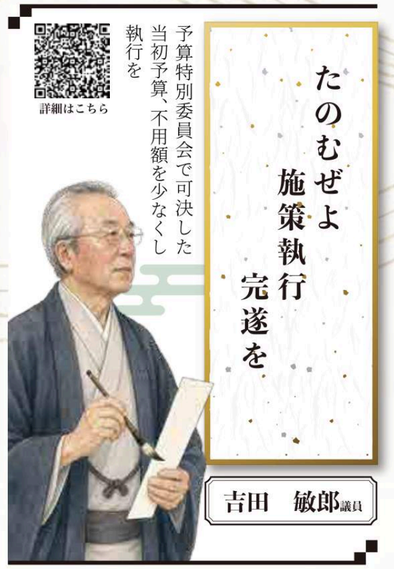


詳細はこちら

農を支え
福祉と子ども
つなぐために

駅前・防犯・高齢者・環境・文化の数字も追及、最多質問で質した

清水　友紀 議員



詳細はこちら

たのむぜよ
施策執行
完遂を

予算特別委員会で可決した当初予算、不用額を少なくし執行を

吉田　敏郎 議員



詳細はこちら

先駆けて
体育館に
空調機

文命中学校体育館の空調設備設置の成果と今後の展開を問う

石田　史行 議員



詳細はこちら

決算書
数字の先を
見きわめる

成果と課題を丁寧に捉え、町のこれからに必要な一手を探ります

井上　慎司 議員



詳細はこちら

厳しさに
未来の基盤
積み上げる

厳しい財政の中でも健全性を維持し、まちづくりは着実に前進

武井　正広 議員



詳細はこちら

刻みつつ
数字の重み
民の顔

町民に有効な施策か、詳細に根拠と共に数字を掘り下げた

前田せつよ 議員



詳細はこちら

幸せを
願って数字と
にらめっこ

町民の幸せのため、正しく！効果的に！お金が使われたのか

今西　景子 議員



詳細はこちら

笑顔咲く
人と地域が
輝けり

健全財政で力強く着実に未来へ歩む。笑顔と躍動のまちへ

寺野圭一郎 議員



詳細はこちら

不用額
見えてくるのは
プロセス管理

不用額に着目、額の多寡ではない、問われるべきはプロセス管理だ

山下　純夫 議員

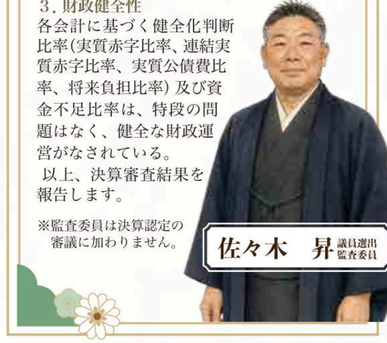


詳細はこちら

税減るも
暮らし守るを
忘れない

令和７年度財政運営の厳しさが表れた決算と注目事業

星野　洋一 議員



令和７年度決算審査結果

1．歳入歳出決算意見
一般会計、特別会計、企業会計の歳入歳出決算の計数は正確であり、実質収支額は黒字であり、良好な財政状況であると認められる。

2．基金の運用状況
基金の管理・運用は適切で、基金の現在高は収支の金額と一致している。

3．財政健全性
各会計に基づく健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）及び資金不足比率は、特段の問題はなく、健全な財政運営がなされている。

以上、決算審査結果を報告します。

※監査委員は決算認定の審議に加わりません。

佐々木　昇 議員選出監査委員

令和８年開成町議会９月定例会議議案審査結果

議決日	提出	議　案　名	審議結果	審議内容
9月7日	議会	特別市制度の法制化に反対する意見書を提出することについて	可決	将来的にわたり持続可能な行政運営を維持していくことが求められる昨今、市町村と県が垣根を越えて連携し、行政課題の解決に向けて取り組む必要がある。仮に「特別市制度」が法制化されれば当町の行政サービスや財政運営に影響を及ぼすことが考えられるため、国、政府及び神奈川県に対し意見書を提出する。
	町長	開成町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	平成５年10月より据え置かれていた議会議員の報酬月額を、県下他町村及び類似団体の比較、又、一般職員の給与改定及び特別職報酬等審議会の意見等を考慮して、所要の改定を行う。
		開成町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	近年の人件費上昇や物価高騰等の社会経済情勢の変化に伴い、し尿収集運搬業務にかかる経費が増大しており、利用者においても適正なし尿処理手数料の負担を求める必要等があるので所要の改正を行う。
		開成町税条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	地方税法等の一部改正に伴い、町民税の寄附金税額控除、固定資産税の地域決定額地方税制特例措置等に関し、所要の改正を行う。
		開成町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	地方自治法施行規則の一部を改正する省令（令和８年総務省令第86号。）が施行されることに伴い、引用する規定等の改正を行う。
		開成町議会議員及び開成町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	公職選挙法施行令の一部が改正され、国政選挙における選挙運動の公費負担の金額が改正されたことを受け所要の改正を行う。

議　案　名	審議結果	清水友紀	吉田敏郎	石田史行	井上慎司	武井正広	前田せつよ	今西景子	寺野圭一郎	佐々木昇	山下純夫	星野洋一
開成町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和８年６月に判明した下水道使用料の賦課漏れについて、町民の信頼を著しく損ねた責任の一端を表して、町長及び副町長の給与を減額する改正を行う。
※本議案に対しては、多くの質疑がありました。

9月7日録画

●は反対したもの、○は賛成者。　★山本研一議長は採決に加わりません。

議決日	提出	議　案　名	審議結果	審議内容
9月11日	町長	決算認定について（一般会計）	認定	歳入91億440万円、歳出84億4,630万円で認定
		決算認定について（国民健康保険特別会計）	認定	歳入14億6,846万円、歳出14億2,683万円で認定
		決算認定について（介護保険事業特別会計）	認定	歳入16億539万円、歳出15億2,733万円で認定
		決算認定について（給食事業特別会計）	認定	歳入１億2,136万円、歳出１億2,047万円で認定
		決算認定について（後期高齢者医療事業特別会計）	認定	歳入３億5,960万円、歳出３億3,464万円で認定
		決算認定について（駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計）	認定	歳入７億9,410万円、歳出７億453万円で認定
		決算認定について（水道事業会計）	認定	歳入２億6,368万円、歳出３億8,120万円で認定
		決算認定について（下水道事業会計）	認定	歳入７億4,750万円、歳出７億9,566万円で認定
		令和８年度開成町一般会計補正予算（第２号）	可決	歳入歳出それぞれ384,341千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8,950,922千円
		令和８年度開成町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ33,076千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,647,879千円
		令和８年度開成町介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ78,059千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,667,226千円
		令和８年度開成町給食事業特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ883千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ139,600千円
		令和８年度開成町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ23,458千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ399,002千円
		令和８年度開成町駅前通り線周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	可決	歳入歳出それぞれ25,724千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ611,687千円
		令和８年度開成町水道事業会計補正予算（第２号）	可決	収益的収入及び支出の支出に103千円を追加し262,475千円とする。

9月11日録画

総務経済常任委員会所管事務調査報告について
～自治会の現状と課題について～

自治会は、地域コミュニティの核となる重要な団体であるが、様々な課題を抱えている。今期の当委員会の委員は、居住する自治会が全員異なることにより、自治会の課題に共通のもの異なるものがあることが把握できた。そこで、所管事務調査項目を「自治会の現状と課題について」とし、令和７年６月より１年以上かけて調査・研究を行い、９月定例会議にて委員長報告を行った。

令和８年９月定例会議

一般質問

一般質問とは、町政全般の事業執行状況や将来に対する取り組みなど、議員が町に対して質問を行う場です。
一人あたりの質問時間は60分です。皆さまの生活に関わる内容はありますか？

都市形成・住環境

人と企業を惹きつけ、さらに成長する町へ

清水　友紀議員

問 工場会や商工会は、横の繋がりを大事にしながら本町の経済循環に多大に貢献。企業誘致や雇用対策には平時からの十分な情報共有が必要では。

答 町内の企業に分け隔てなく情報提供を行う。企業誘致は今後が一層大事になってくるので、トップセールスを含め営業活動を一生懸命に行う。

問 開発による人口増加を見越した、園や学校の受入体制の検討が必要では。



答 園は民間活力も活用し受入れ枠を拡充、待機児童を生じさせないよう努める。学校は特に南小と文命中の教室数を懸念。児童生徒数の将来推計を随時把握し、必要に応じて施設改修や適切な学区の在り方を検討する。

都市形成・住環境

1．有償ボランティアの活動の活性化策を問う
2．本町のブランディング戦略の現在地について

山下　純夫議員



問 作業内容の見直しと、登録者を増加させて、有効で活気ある活動とするための方策は。

答 対象範囲や作業内容は、頻繁に見直していくというスタンスで臨んでおり、アンケートをとって全体を把握しつつ改善を図りたい。

問 地域を感じながらという部分の担い手として地域住民に何を期待し、どう醸成していくか。

答 地域住民に期待することは、自治会活動や様々な協働の取り組みへの参画など地域の中での互恵を意識した生活を楽しんでいただくこと。

都市形成・住環境

中部・北部エリアの将来像と持続可能なまちづくりについて

井上　慎司議員

問 中部・北部エリアを今後どのような地域として位置付けるのか。

答 中北部は田園居住地域・都市型居住地域と位置図け、地域別構想を策定。山北開成小田原線の早期実現に向け全力で取り組む。

問 イベントによる交通混雑や地域住民への負担をどう考えるか。

答 交通渋滞が地域住民の日常生活や交通環境に影響していると認識。町民や各種参加団体の声をいただきながら、運営方法を検討する。



問 公共・教育施設をどう活用し、持続可能なまちづくりにつなげるか。

答 既存公共施設の適正な維持・長寿命化、多機能化を進めていく。

協働・財政・広域連携

人口増を支える持続可能な行政経営と人材活性化について

武井　正広議員



問 業務改善報告制度で廃止や統合の提案職員を評価する仕組みも必要では。

答 業務改善意欲を高める趣旨で今年度創設したものであり、検討する。

問 若手職員が考えた新しい取組みを試行・検証できる仕組みを考えては。

答 制度設計は十分可能、若手の声は大歓迎、そうした組織を目指している。

問 役場に行っても挨拶があまり無いとの声も、役場全体として考えては。

答 接遇力の覆面診断の結果は今回は悪かった。改善に取組みたい。

問 役場の平日受付時間を見直し、月１回程度土曜午前に振替える考えは。

答 月１回の土日振替開庁は難しい。

健康・福祉

高齢者福祉・介護福祉の施策を問う

前田せつよ議員

問「第10期本計画では高齢者が住み慣れた地域で健康を保ちながら、自立した暮らしができるような環境を整備することが何よりも大切なことと考えている」との答弁だが、移動支援策が進んでいないと様々な場で町民の声を聴く。一刻も早い移動支援策が必要である。見解は。

答 移動手段の確保と買い物環境整備のことは毎月１回以上話し合っている。来年度に何をやるのかを決めて皆様にお諮りしたいと考えている。



問 介護保険料の段階を細かくすることは格差是正に繋がると考えるが。

答 介護保険料の確保及び段階区分について合わせて考えていきたい。

子育て・教育

部活動地域展開の現状と今後の方策を問う

佐々木　昇議員



問 本事業が保護者の過度な経済的、時間的負担増に繋がらないように十分配慮した上で教育的効果や地域資源の最大化を図る観点から今後、どのような方向性を持って臨んでいくのか。

答 部活動地域展開には三つの目的がある。その目的を目指して部活動地域展開を推進してきており、今後も推進していく。しかし、持続可能の観点では、特に財政負担面において懸念を抱いている。今後も広域化や費用対効果を見極めた改善を重ねることで、本町にとって真に持続可能な部活動地域展開を推進していきたい。

研修報告１　８月５日(水)　質問力の向上～議員力・議会力の強化～

自治体議会研究所代表髙沖秀宣氏から実践や実例をまじえた研修を受けました。

研修報告動画はこちら



研修報告２　８月10日(月)　特別市制度についての説明会

人口減少や大都市の課題に対応する新たな大都市制度「特別市」制度について、神奈川県中谷副知事からメリット・課題などの説明を受けました。

研修報告動画はこちら



結果報告　議場の学習スペース開放結果

夏休み期間中に議場を学習スペースとして開放しました。多くの皆さまにご利用いただき、ありがとうございました。

実施期間	7月21日(火)～8月21日(金)
利用日数	23日間
延べ利用人数	128人

集中して勉強できる環境で助かりました。静かで涼しく、快適でした。また利用したいです！



利用された方からの感想

読者アンケートにご協力ください

議会だよりに関するご意見･ご感想をお聞かせください。
いただいたご意見は、紙面づくりの参考にさせていただきます。

【回答方法】
右のQRコードを読み取り、
回答フォームからご回答ください。

約30秒で回答完了！

介護付き有料老人ホーム
「グランデュオ イルカ」
デイサービス
「イルカの家」
介護用品の製造・販売・レンタル
株式会社 リフテック
〒258-0019 神奈川県足柄上郡大井町金子1012-1
お問い合わせ・入居のご相談は Tel.0465-85-5150



議会事務局

電　話：0465 (84) 0323
ＦＡＸ：0465 (20) 5272
ウェブサイトアドレス：https://kaiseigikai.kanagawa.jp
メールアドレス：gikaijimu@town.kaisei.kanagawa.jp

発　行：開成町議会
編　集：広報広聴常任委員会
（広報分科会）

植物インクと再生紙を使用しています。